

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 横島町公民館支館事業 支援業務	支館活動を通じた町づくりの 支援を行う。	支援支館数	支館	1	1	1	1
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 支館独自事業実施回数	支館が実施した事業の回数	回	1	2	2	2
			1	1	2	
2 支館事業参加者数	支館事業に参加した延べ人数	人	800	1,800	1,800	800
			755	764	896	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等 他の団体では実施できない事業か。	支館活動は地域づくりのためのボラン ティア的な活動であり、事務局としての 一定の人的支援を行わなければ、充実 した支館活動の継続が困難となり、地 域の結びつきが薄れ、活性化が図れな くなる。
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が 薄れていないか。	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる 等の影響があるか。	
有効性 (判定) B	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地 はないか。	現在の支館事業以外に、他団体が取り 組む町づくり事業などがあり、事業の連 携や統合を後押しすることで、町づくり がより活性化できる。
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ 以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプ ロセスはないか。	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、こ れ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地は ないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性 【31】	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改 善の具体的内容	地域コミュニティ活動が活発に展開されることで地域住民の結びつきが更に強固なものとなり、地域の 特性が生かされた魅力あるまちづくりが実現できる。そのためには今まで以上に支館活動への必要な 支援を行い、市民との協働が必要があることから、支館と共に支援の内容や方法の拡充についての 検討を行う。
昨年からの見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	少子高齢化により地域助け合いが薄れ、相互扶助機能も希薄化しており、支館を はじめとする地域住民によるコミュニティ活動の促進を図る必要がある。今後も引き 続き、地域連帯感を高めていくためにも本事業を継続していきたい。	評価責任者 坂本 政輝
----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------